

第55回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会 会議録			
開催日時	平成28年1月13日(水) 18時30分から19時45分まで		
開催場所	奈良市役所 北棟2階 第16会議室		
出席者	委員	渡邊信久 委員長、田中啓義 副委員長、安田美紗子 副委員長 今井範子 委員、梅林聰介 委員、倉本みゆき 委員、 三浦教次 委員、元島満義 委員、森住明弘 委員、 山本憲宥 委員、吉岡正志 委員、吉田隆一 委員、 【計12人出席】(欠席：古海忍 委員、山口裕司 委員)	
	事務局	仲川市長、向井副市長、南環境部長、新井環境部次長、 久保田環境部参事、峠企画総務課長、林環境清美工場長、 辰己環境部参事(クリーンセンター建設準備課長事務取扱)、 今田課長補佐、大石主務	
	コンサルタント	パシフィックコンサルタンツ株式会社(枝澤、上田、有田)	
開催形態	公開(傍聴人7人)	担当課	環境部 クリーンセンター建設準備課
議題 又は 案件	1、市長あいさつ 2、副市長あいさつ 3、クリーンセンター施設基本計画策定等業務について		
決定又は 取り纏め 事項	1、概要の取り扱いについては、「参考」「たたき台」とするべきである。 2、概要については、修正を行い策定委員会に諮る		
<b>議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等</b>			
<b>1、市長あいさつ</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は、施設基本計画策定等業務が終了したので、その内容を説明申し上げます。</li> <li>・昨年の7月6日付で環境部を所管する担当副市長として向井が就任いたしました。</li> <li>・クリーンセンター建設に向けての取り組みについては、なかなか難しい課題でもある。今の奈良市の状況等を皆様方にご報告を申し上げ、様々な意見をいただきながら進めていきたい。</li> </ul>		
<b>2、副市長あいさつ</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで多くの議論を重ねられてきたこと、クリーンセンター建設事業が奈良市にとって大変重要な事業であることは十分認識している。</li> <li>・今日の委員会での議論もふまえ、適切な対応をしていきたい。</li> </ul>		

<b>3、クリーンセンター施設基本計画策定等業務について</b>	
<b>➤ 事務局より</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設候補地周辺の皆様との協議はなかなか進展していないが、一日でも早くクリーンセンター建設を進めていきたいとの思いから、建設候補地周辺の皆様のご理解を得るための説明資料作成を目的として進めていた業務が報告書（案）としてまとまったので説明します。</li> </ul>
<b>➤ パシフィックコンサルタンツ株式会社からの説明</b>	
	<p>1. 奈良市クリーンセンター施設基本計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱回収施設（ごみ焼却施設）及びマテリアルリサイクル推進施設として整備するクリーンセンターの施設規模等の基本的な事項について策定しました。その概要は以下のとおりです。</li> </ul> <p><b>【5つの整備方針】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>方針1 「資源循環の拠点となる施設」</li> <li>方針2 「地域の発展につながる魅力ある施設」</li> <li>方針3 「環境と調和し、安全安心な施設」</li> <li>方針4 「災害に強い施設」</li> <li>方針5 「経済性に優れた施設」</li> </ul> <p><b>【施設規模】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熱回収施設 約375トン／日（通常分+10%程度の災害ごみ分）</li> <li>リサイクルセンター 約90トン／日</li> </ul> <p><b>【系列数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3系列（代替施設がないことなどを考慮）</li> </ul> <p><b>【環境保全目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現有の環境清美工場よりも厳しい数値を設定</li> </ul> <p><b>【建設費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熱回収施設 264億円      リサイクルセンター 71.5億円</li> </ul> <p><b>【運営費】（実質負担額、20年間トータル）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熱回収施設 89.2億円      リサイクルセンター 59億円</li> </ul> <p>2. P F I 等導入可能性調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来方式、公設+長期包括委託方式、D B O方式、B T O方式の4つの方式について、定性的評価及び定量的評価を行った結果、D B O方式が最適であると考えられます。</li> </ul> <p>3. 候補地周辺における付帯施設検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状分析や導入事例を整理し、導入施設イメージ案を検討しました。この案をもとに、候補地周辺のみならず、関係する市民のみならずと検討を行っていきます。</li> </ul>

▶ 質疑応答	
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営方式について、どのあたりを評価してDBO方式がもっとも有利であると選んだのか教えてほしい。</li> </ul> <p>⇒ (パシフィックコンサルタンツ株式会社) 以前は、建設と運営をわけて考えていたが、新しい施設の場合、最初から建設と運営をセットで競争してもらう形が増えてきているのが一番の理由である。</p>
今井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業や林業に対してグリーンツーリズムなどのグローバルな視点が入っているのか。あくまでも地元という視点であるのか。</li> </ul> <p>⇒ (事務局) 付帯施設については、候補地周辺住民のみなさまと交渉をしていく中で様々な案を持っておくために作成したもので、これがすべてではない。</p>
元島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画等の概要が示されたが、今この議論をする必要があるのか。議題の順番を先に決めないといけない気がするが、奈良市としてどう考えているのか。</li> </ul> <p>⇒ (事務局) 奈良市として、地元の説明のためにある程度具体的な内容を定める必要があると考えた。基本計画(案)については委員会の承認を得てから地元への説明に入りたいと考えている。</p>
▶ 委員からのご意見	
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付帯施設について、農林業あるいは地元の産業を意識したほうがよい。健康増進の中でリハビリ機能を持たせることを考えてみてはどうか。</li> </ul>
吉岡委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急ぐ気持ちはわかるが、候補地周辺住民との協議ができていないのに、基本計画等の概要を出すことでボタンの掛け違いにならないか心配である。</li> </ul>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DBO方式の点数が高い結果となっているが、他の方法もあり得るということを明確にしておき、計画が煮詰まってから議論すればよい。</li> </ul>
梅林委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この基本計画等の概要はあくまでも「たたき台」である。これを持って1回でも地元と交渉しないと前向きな話に進んでいかない。</li> </ul>
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前向きに進めていく材料として基本計画等の概要を使っていくことはよいと思う。</li> </ul>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画等の概要については、「参考」として取り扱い、これを持って候補地周辺のみなさまと話し合いに臨んでいただきたい。</li> </ul>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・奈良市クリーンセンター施設基本計画策定等業務の概要 (概要については、委員会終了後回収)</li> </ul>